

【山崎主宰の俳句】

大和は吉野

山崎 聰

毛虫焼くことからはじめ山暮し
きょうその日いちにちだけのねむの花
八月の大和は吉野戦争へ
真夜中の異物としての冷蔵庫
どこまでも男と女盆踊り
土用丑の日海を見て空を見て
熱帯夜ひとり置いてゆかれけり
三伏のけものめきたる草の丈
彼および彼女らそして合歡の花
縁あつて月夜のバーボンウイスキー